

浮島文部科学副大臣面談報告書

日時 : 2019年5月28日 16:35~16:50

場所 : 浮島智子文部科学副大臣室

面談者 : 浮島智子文部科学副大臣

< 図友連 > 代表以下9名

< 図友連 >

要望書を手交し、代表より要望書6点を説明。昨日、図友連の総会があり、全国から図書館の応援団が集まり、図書館の振興・発展に関して、地元で努力している情報を交換した。ナショナルミニマムの観点から、文科省の施策を期待したい。

福岡市の学校司書の配置状況が不十分である。

京都府でも舞鶴のような郡部では、財政基盤も小さく公共図書館サービスも学校図書館サービスも大変貧しい状況である。

< 浮島副大臣 >

ご要望の内容はよく理解している。私もずっと、読書が大変大事だと思っている。学校図書館などの様子をできるだけ伺うようにしている。子どもには「印刷された本」を読んでもらいたいと思っている。

小学4年生の男の子に「どうして本が好きなの？」と聞いた時に、「本をめくる時の風を感じるのが好き。」と答えてくれて、子どもの感性はなんて素晴らしいと思った。多くの子どもに、スマホなど電子機器ではなく、本にふれて欲しい。皆さまの声を聴くことはとても大切だと思っているので、是非色々な意見を届けて欲しい。